

流域治水との連携強化を踏まえた対応

豪雨災害に関する今後の治山対策の在り方検討会 とりまとめ【概要】 (令和3年3月)

- ▶ 森林が有する土砂流出防止機能・洪水緩和機能は、治山対策・森林整備の進展により、歴史的・全国的にみれば過去と比較して良好な状態。他方、地域ごとにみれば、**手入れ不足の森林、病虫害被害森林、台風による風倒被害森林等では保水力等機能低下が懸念**
- ▶ 今後、**気候変動の激化により降雨量や溪流の流量が増大し山地災害・洪水被害とそれに伴う流木 災害が一層激甚化するおそれがあることから、山地・溪流対策の一層の強化が必要**

▶ 強化していくべき具体的な対策

(1) 森林の土砂流出防止機能の維持・向上対策

- ▼**尾根部崩壊対策**：災害履歴がある箇所等を対象としたリモートセンシング技術による微地形や崩壊予兆の監視、発生抑制対策
- ▼**溪流侵食対策**：**タイプの異なる治山ダム**（土石流に耐える治山ダムと、小規模治山ダムの階段状配置や高密度配置）の**効果的な配置溪流沿いの危険木の事前伐採**や将来の危険度を低減させる**林相転換の推進**
- ▼**同時多発化対策**：危険度が特に高い約1.3万地区の**着手率向上**と既存ストックの有効活用

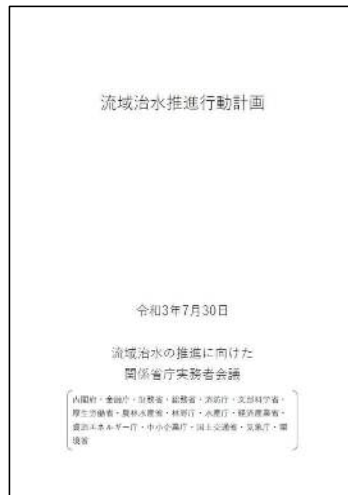
(2) 森林の洪水緩和機能の維持・向上対策等

- ▼**森林整備と簡易土木工法（等高線状の筋工設置等）の組み合わせ対策の面的推進**
- ▼**河川の流路断面を閉塞させないよう流木・土砂流出抑制対策の推進**

【強化していくべき具体的な内容】※「流域治水」の取組と連携して実施



流域治水推進行動計画（令和3年7月）における位置づけ (治山関係部抜粋)



○施策項目

(2) 流域全体を俯瞰した総合的かつ多層的な対策

(具体的取組)

- 森林整備・治山対策による森林の**浸透・保水機能の発揮**（109水系）
- きめ細かな治山ダムの配置や山腹崩壊対策などによる土砂流出の抑制
- 森林整備や治山ダムによる流木発生抑制、透過型砂防堰堤や流木捕捉施設による流木の捕捉を、**治山事業等と砂防事業が連携して一体的に実施することで、流域全体の流木被害を防止・軽減**

流域保全総合治山事業の創設（R4当初予算より創設）

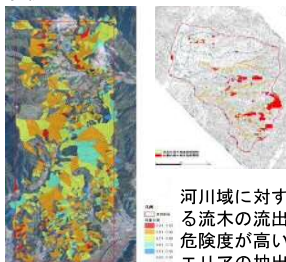
○事業のポイント

流域治水プロジェクトとの連携を本格的に進めるため、既存の類似事業を廃止し、新たに「**流域保全総合治山事業**」を創設。
このうえで、**浸透能・保水力などの機能が低下している森林において筋工・柵工などの機能を向上させる簡易な土木的構造物の設置を要件化し、これらと組み合わせた面的な保安林整備等を実施するとともに、対策の高度化に資する詳細調査・効果検証を実施。**
併せて、**砂防事業と連携した流木対策を強化。**

【事業イメージ】

●対策箇所の詳細調査

リモートセンシング技術等を活用し、事業対象地のうち、特に、保水機能が低下している森林等の分布状況を把握



森林の混み具合分布

●対策の実施

筋工、柵工の面的配置＋保安林整備



雨水の浸透促進・地表流の流速低減

●対策効果の検証

- 流量観測、流出解析、散水試験等の実施
- 課題に対する改善策の検討など



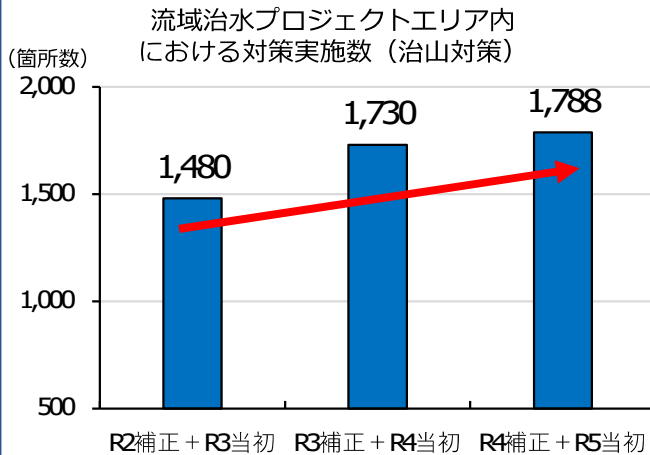
調査・観測結果については、流域治水協議会へ報告や、今後の技術開発にかかるデータ蓄積・分析に活用

流域治水の取組との連携状況について

- 流域治水と連携した取組を推進するため、森林管理局及び都道府県林務部局が流域治水協議会に参画し、**全ての一級水系（109水系）をはじめとした各水系の流域治水プロジェクトに「森林整備・治山対策」を位置づけ**。
- 具体的には、**国土強靱化5か年加速化対策を活用**し、各地の河川上流部等において、**土砂・流木の流出を抑制するための治山ダムの設置、森林の保水力向上のための筋工等の設置や森林整備等を重点的に推進**しているところ。

■ 流域治水との連携状況

各水系の流域治水プロジェクトに「森林整備・治山対策」を位置づけ



■ 重点的な取組内容

【土石流・流木対策】

○ 吉野川水系（徳島県美馬市）



○ 郡川水系（長崎県大村市）



○ 利根川水系（群馬県東吾妻町）



○ 木曽川水系（岐阜県下呂市）



【森林の保水力向上対策】

○ 菊池川水系（熊本県菊池市）



○ 櫻井川水系（大阪府泉佐野市）

